

オンライン 作業と姿勢と人間工学 基礎編

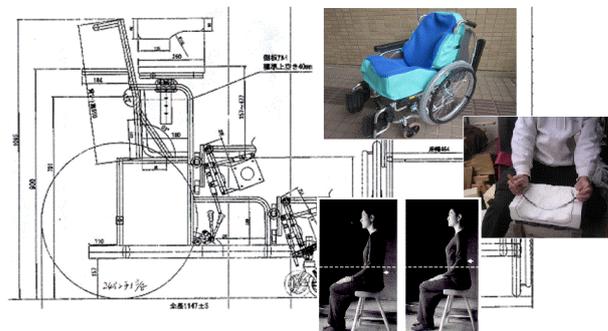
～インテリアを学ぶ事から見えてくる道具を介したケア～

人間工学の介入環境やエビデンスは多岐に渡ります。

身体・精神・作業環境・医学・建築・インテリア・・・

そのすべてをまとめて臨床に生かしていく方法論を

学ぶ事ができます。



「Zoom」を使用したオンラインセミナーです

・日時 2021年10月9日（土） 14:00～17:00

参加費 4,980円

・申込URL <https://www.meducation.jp/seminar/detail.php?id=35801>

お問い合わせ 日本ユニバーサルリハビリテーション協会

TEL 042-208-0102

E-mail otmode@jcom.home.ne.jp

URL <https://universalreha.com/>

人間工学とは、「もの」をヒトの生活様式に合わせてデザインする技術です。

人間工学の開発は、身体特性を調査し、行動様式のモニタリングを行い、身体機能面のエビデンス確立と、作業や道具を使う人間の精神や心理、行動特性も照らし合わせデザインされてきたものです。

インテリアは人間工学から生まれました。患者様が使う車椅子を知る、椅子を知る、ベッドとは何かを知るために、まずはインテリアの基礎である人間工学を学びませんか。人間工学を医療従事者が知っておく事は重要な要素なのかもしれません。

私たち医療従事者も対象者の身体機能、精神機能を評価し介入していきませんが、工学分野では我々とは違った角度から「ヒト」という存在を評価し、社会的結果を出しているのです。

このような、我々の日常生活に深く溶け込んだ人間工学を臨床の医療に取り入れて、誰もが簡単に利用し応用していく技術、方法論と心理精神活動に影響する事実を紹介します。

その事実を知ることによって施設や病院内でも快適な生活空間を構築する技術が身に付き、インテリアと椅子の関係性から車椅子の構造やシーティングを知ることが出来ます。

いつまでも車椅子に座る事を考えずに、原点である人間工学という基礎を振り返ることで、治療に応用し、再び馴染みのある道具やインテリアの利用を考える事が本セミナーの目標です。

『作業と姿勢と人間工学』・・・何気なく使っている道具は、治療機器に見えてくるかもしれません。